

2020（令和2）年度市政懇談会 開催結果概要

- 日時 令和2年8月25日（火）午後3時00分～
- 会場 阿寒町公民館
- 参加者 22人

〔市長より説明（別途資料参照）〕

○つながる まち・ひと・みらい ひがし北海道の拠点都市・釧路

- ・釧路市の現状と課題
- ・2020（令和2）年度予算
- ・「釧路市まちづくり基本構想」重点戦略の推進（主な政策テーマ）
- ・新型コロナウイルス感染症対策関係
- ・日本海溝・千島海溝沿いの最大クラスの津波について

●意見交換

【参加者A】

阿寒湖温泉の旅館は、2月からの客数が例年より約90%減少しており、Go To Travelが開始された8月も50%程度の利用と厳しい状況が続いております。これまでも、釧路市に対し陳情をした上で、市の補助を受けて何とか持ちこたえており、これからの10月、11月が稼ぎ時と考えております。これからも市の協力をお願いいたします。

【市長】

新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで続くかわからない中、とにかく生き残っていかなければいけません。これからは、それぞれの地域や会社の生き残りを賭けた戦いになると考えており、企業と市が一体となって頑張っていきたいと思います。

【参加者B】

阿寒は住みやすい街で、誇りをもって住んでおりますが、阿寒は二つの河川に挟まれており、万が一のとき、どうなるのか不安になることがあるのですが、水量計のようなものはあるのでしょうか。

また、行政のスピーカーが私の家からは聞こえず、高齢者がこれからスマートフォンに替えることも難しいため、各世帯に防災無線の個別受信機を設置するか、スピーカーの数を増やしてほしいと思います。

【市長】

阿寒川については、北海道によって水位周知河川に指定されることで、雨量がどのようになったときにどのように対応するかという避難計画の目安ができ、それに応じたハザードマップを市町村が作るという流れになっております。このたび、阿寒川の下流が水位周知河川に指定され、大楽毛地域のハザードマップを作成しました。今後は、防災・減災の観点から、阿寒川全体が水位周知河川に指定されるよう強く進めて行きます。

防災無線の音が聞こえない件については、寒冷地で住宅の気密性が高く、出力を上げるなどの対応を行ったのですが、全ての家庭にスピーカーで音声を伝えることはできませんでした。そこで、FMくしろと連携し、釧路市内の全ての場所でFMくしろが聞ける環境を整備し、FMくしろを通じて地域の情報を

流す形をとっております。緊急時には、FMくしろでどのような番組を放送していても、市役所が24時間いつでも割り込めるようにしている他、まなぼつと幣舞にも臨時のスタジオを設けております。テレビ等では、地域の情報がなかなか発信されませんが、FMくしろではしっかりと地域の情報が発信されますので、今後、何かあった際は、FMくしろを聞いてもらえるようお願いするとともに、今後もこのような仕組みの周知に努めていきます。

【参加者B】

阿寒の災害時の備蓄は、十分にありますでしょうか。

【阿寒町行政センター次長】

備蓄につきましては、現在、阿寒町行政センターとまりむ館において、食料約1,700食、飲料水約1,300リットルを備蓄しております。食料の内容は、「クラッカー」「カロリーメイト」「アルファ米」です。大規模災害の場合、現在の備蓄では足りない可能性があるため、皆さんには家庭内備蓄にご協力いただきますようお願い申し上げます。また、災害時における物資の調達に関する協定に基づき、セコマ等の流通業者から優先的に食料の提供を受けることとなっており、今後も備蓄を増やしていけるように進めていきます。

【市長】

セコマからは、10万食の提供を受けることとなっており、その中で災害時には対応していきます。

【参加者B】

幣舞橋近くのロータリーに植えられている寄付を受けたオンコの木について、下から見るとあまり感じないのですが、まなぼつと幣舞のレストランから見ると、上のほうが枯れていて残念に感じます。どうにかできないでしょうか。

【市長】

オンコの木については、私は下からしか見ていませんでした。植える際は、しばらく会社のある浜町に植え、一定程度の期間潮風にあててから、潮風に耐えられることを確認した上で、ロータリーに植えられたと認識しています。今後、状況を専門の方に見てもらいながら考えていきます。

【参加者C】

我々はゲストハウスの経営をしており、若い世代の利用者が多く、お話を聞くと釧路や阿寒町を気に入り、移住を検討している方が増えているように感じますが、就職先が少ないという声をよく聞きます。他の自治体を見ると、地域おこし協力隊を通じて移住・定住に結びついたり、自分で起業したりする方が非常に多いように感じます。阿寒町商工会の青年部も活発に活動しており、ゲストハウスとしても協力できると思います。今までも、釧路市で地域おこし協力隊の募集をしていると思いますが、行政職員のお手伝いという立場になっている方が多い印象があります。今の時代、地方で生きていく力の強い若者が重要になってきており、地域おこし協力隊は、今後起業につながるであろう若者を採用できる良い制度だと思いますので、ぜひ、検討してほしいです。

【市長】

釧路市の地域おこし協力隊は、阿寒湖畔で多く、起業を検討されている方もおります。今後、地域おこし協力隊を実施するに当たり、様々なやり方があると考えております。新しい阿寒町行政センター長は、産業推進や経済部門を進めてきた職員であり、その点についてはプロフェッショナルでありますので、ぜひ、進めて行きたいと思っております。

【阿寒町行政センター長】

私は、前任が産業推進室という部署で、8年間在籍し、商業労政課にいたこともありますので、雇用関係の業務の経験もあります。今後、協力して進めて行きたいと思っております。

【参加者D】

町内会活動は、みんなが集まり交流するもので、コロナ禍の中、様々な行事が行えない状況にあります。そこで、市役所の行事が軒並み中止になってしまうと、市役所に倣って町内会行事も中止する判断になってしまいます。

今後、町内会が活動できないとなると、「町内会で何もできないのであれば町内会は必要ない」という声があがるのが懸念されます。新型コロナウイルス感染症の拡大はいつ収束するかわからず、来年についても見通しを立てることができない現状について、市長の考え方をお聞かせいただきたい。

【市長】

釧路管内における公衆衛生・感染症の権限や責任は北海道にあり、市役所にはない中、公衆衛生専門の市の政策アドバイザーに助言をもらいながら進めて行きたいと考えています。大きな流れとして、現在、「リスク0」を取る傾向にあり、市の行事は行いたいですが、行えていない状況にあります。

コロナ禍において、イベントが行えない中、感染症対策をしっかりと行った上で実施されるイベントに対し交付金を交付する「釧路の元気プロジェクト」については、20団体からの提案を受けました。本日の釧路新聞に「たの・うま・べいフェスティバル4イベントに1万5千人来場」という記事が掲載されておりましたが、この事業も「釧路の元気プロジェクト」の交付事業で、このように少しずつ新型コロナウイルス感染症拡大前の状態に戻していくことが重要であると考えております。

緊急事態宣言に伴う自粛要請は、他国で発生していた「人工呼吸器の数に限りがあり、どの患者に使用するか選択しなければならない」という、いわゆる医療崩壊を防ぐために実施されたものと認識しており、現在、釧路・根室管内では軽症患者を収容するホテルを100室確保するなど、医療環境はしっかりと整備されているものと認識しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、正しい情報に基づき正しく恐れることが重要です。感染症の感染経路は、接触感染、飛まつ感染、空気感染等であり、感染経路を断つために、WHOでは「手をよく洗い、顔を触らないように」と示されていたり、台湾では「人と人との距離を屋外では1m、屋内では1.5m以上空けるように」と示されたりしております。

このような情報を踏まえ、リスクを避けるために活動をやめてしまうのではなく、しっかりとした感染症予防策を実施し、活動していくことが重要です。

今後は、自分の権限の中で正しい情報の発信に努めていきます。

【参加者D】

釧路管内の新規感染者はほとんど出ておらず、他都市からの往来で感染者が出ているように感じます。無症状の感染者が釧路市に来て、感染が拡大してしまっただけではどうしようもないと考えますが、どのように考えていますでしょうか。

【市長】

難しい問題であると考えています。アメリカのデータでは、PCR検査であっても100%感染者を特定することはできないと示されています。無症状でも感染している可能性があるため、ウイルスを自分の体に入れないように飲食時に大皿を避けるなど、感染症対策を行うことが重要であると考えております。

【参加者E】

私は、阿寒町ロビーコンサート実行委員会事務局をしており、平成25年から月に1回、無料で演奏会を行ってきました。コロナ禍で今年の2月からは演奏会を中止していましたが、今週の土曜日にロビーではなくホールを貸していただき実施できることとなりました。ステイホームが続いていた中で楽しみができて本当に良かったです。ありがとうございました。

【市長】

ロビーコンサートを含めて様々な活動を実施できるよう、専門家と相談し、しっかりと進めていきます。市のプラネタリウムも通常の座席数が120席で、マニュアルに則り対応するのであれば、37席になります。市役所の事業であるから成立しますが、これが民間の事業であれば成立しません。マニュアル通りに活動しては何もできませんので、様々な活動を再開できるよう、しっかりとした根拠を持って、今後もぜひ、協力しながら進めていきたいと思っております。